

令和8年産ビール大麦成熟期予測①

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室
 予測日：令和8(2026)年4月20日

○気象庁季節予報によると、向こう1か月の平均気温は平年より高くなる可能性が高く、成熟期が早まることが想定されるため、収穫適期を逃さないよう、早くから収穫準備を進める。

1. 有効積算気温によるニューサチホゴールドの成熟期予測

農研センター本場（宇都宮市）におけるニューサチホゴールドの成熟期（4月20日現在、令和7年11月5日播種）は、今後気温が平年並に推移した場合は平年より5日早い5月23日（平年値5月28日）、平年+1℃の場合は5月20日（平年-8日）、平年+2℃の場合は5月17日（平年-11日）、平年-1℃の場合は5月27日（平年-1日）と予測される。

場所	出穂期	成熟期予測				成熟期
	本年	平年+2℃	平年+1℃	平年並	平年-1℃	平年値
農研センター	4/10	5/17	5/20	5/23	5/27	5/28

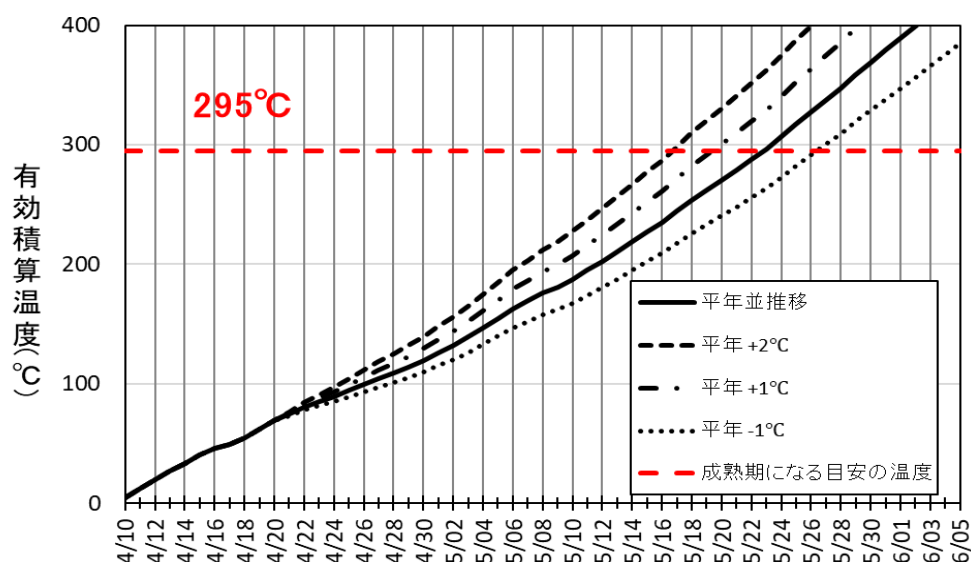


図 ニューサチホゴールドの成熟期予測（農研センター本場）

※有効積算温度=Σ(日平均気温-有効下限温度(10.5℃))
 ※日平均気温は気象庁宇都宮アメダスの観測データを使用した。
 ※有効積算温度及び有効下限温度は、ニューサチホゴールドにおける出穂期から成熟期までの積算温度で算出した。

2. ニューサチホゴールデンの出穂期

農研センター本場（宇都宮市）におけるニューサチホゴールデン（令和7年11月5日播種）の**出穂期は4月10日**（平年4月18日）であった。

出穂期		
本年	平年	差
4/10	4/18	-8

※平年値：平成25年～令和6年度（11年間）の平均値。

※令和5年度は参考値（播種が平年より10日遅れたため、平年値から除く）。

3. 今後の気象動向（気象庁季節予報令和8年4月16日発表より引用）

- 天候：期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
 - ・平均気温：**高い**確率が70%
 - ・降水量：**平年並または多い**確率ともに40%
 - ・日照時間：**平年並みまたは少ない**確率ともに40%

項目	地域	期間	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	向こう1か月 04/18～05/17	10	20	70
		1週目 04/18～04/24	10	10	80
		2週目 04/25～05/01	10	20	70
		3～4週目 05/02～05/15	20	30	50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 04/18～05/17	20	40	40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 04/18～05/17	40	40	20

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

向こう1か月の平均気温は平年より高くなる確率が70%であり、**成熟期は平年より早くなる可能性が高いと考えられるため、収穫適期を逃さないよう注意が必要である。**